

令和7年3月12日

目黒区教育委員会教育長 宛て

目黒区立駒場小学校
校長 秋山 美栄子

令和6年度 目黒区立駒場小学校 学校評価報告書

1 学校評価委員会の実施内容

(1) 第1回実施日時 令和6年6月22日(土) 午前11時00分～午後0時30分

- ・学校公開参観
- ・令和6年学校経営方針等説明
- ・開校90周年に向けて
- ・学校評議員の皆様からご意見等について

(2) 第2回実施日時 令和6年10月19日(土) 午前10時05分～午後0時30分

- ・道徳授業地区公開講座参観
- ・学校公開参観
- ・開校90周年について進捗報告
- ・学校評議員の皆様からご意見等について

(3) 第3回実施日時 令和7年2月22日(土) 午前9時00分～午後1時00分

- ・アートフェスタ鑑賞
- ・令和6年度教育活動報告及び学校評価結果から
- ・学校評議員の皆様からご意見等について
- ・次年度の評議員について

2 参加者 校長・副校長・学校評議員5名

3 評価の結果等

※四者…児童・生徒、保護者、地域の方、教職員のこと。

評価項目	◎(成果)、●(課題)、 ◎(成果と課題の両者を含む)	次年度の教育活動の改善点	学校評価委員会での意見 (学校運営協議会での意見)
I 学校全体について ・学校の雰囲気、学習環境、教職員の態度などについて、家庭・地域との連携、地域人材の活用などについて	◎地域以外は、全てにおいて肯定的評価の割合が昨年度を上回った。特に保護者からの肯定的意見が多くなった。 ●地域からの評価が少し下がったが、地域の回収数が大幅に増えてためだと考える。	・児童は、学年にもよるが、概ね落ち着いて学習できている。開校90周年記念行事が児童の意識の中に常にあったため、学校全体に一体感があつた。落ち着いた学習環境と児童の笑顔があふれる学校を目指して、さらに努力する。	・90周年に係る行事を通して、校長の経営方針の浸透が図られていた。
II 教育目標について	◎保護者からの肯定的	・学校だよりの形式変	・40分授業で時程を

<p>・教育目標、時程、教育内容全体について</p>	<p>意見が増えていた。保護者会全体会や学校だよりでの周知が良かったと考える。</p> <p>●教職員の評価が下がった。今年度赴任した教職員や若手教員への指導周知が足りなかったため、短時間学習や昼会や下校時刻など週時程についての共通理解の不足による、混乱があったことが理由として挙げられる。</p>	<p>更が定着し、下校時刻等の周知が徹底したのが良かった。さらにわかりやすい時程を考え、変更を少なく、落ち着いて生活ができるように工夫する。</p>	<p>組むことによる成果を引き続き検証していくとよい。</p> <p>・学校だよりが変更されて、兄弟がいる場合は下校時刻がよく分かるようになった。また、こまちゃん広場など子ども教室の計画・開催にも役に立っている。</p>
<p>Ⅲ 心の教育について</p> <p>・道徳科の授業の充実や児童・生徒の道徳的実践力の向上に向けた取組について</p>	<p>◎学校公開・道徳授業地区公開講座において、全クラスとも授業を公開するとともに、保護者にも講演を聞いていただく時間を設けた。</p> <p>●低学年において少し評価が低い、評価についてそもそも理解が不十分な児童が多かったのではないかと考えている。</p>	<p>・道徳科はローテーション授業とし、来年度も十分教材研究ができるようにし、行っていく。また、保護者参加型の道徳授業地区公開講座とし、保護者に関心をもってもらえるような内容を工夫する。</p>	<p>・引き続き、地域人材を活用した取組を充実させ、駒場の町と一体となって、心の教育の推進に努めていってほしい。</p> <p>・道徳って何をやっているのか、保護者はよく分かっていない。道徳授業地区公開講座の講演など、保護者に一緒に聞いてもらうことが大切。家庭での会話ができるようになる。</p>
<p>Ⅳ 学習指導等について</p> <p>・学力の定着・向上に向けた授業の改善・充実、少人数指導、主体的に学習に取り組む態度等の取組について</p> <p>・職場体験等体験活動、自然宿泊体験教室、キャリア教育等の充実について</p>	<p>◎全てにおいて、昨年度に比べて評価が上がっている。教員にとっては、生み出された時間を使って放課後、学年会や教材研究も進められている。</p>	<p>・校内研究を充実させ、主体的に学習に取り組む授業づくりを進める。授業力や指導力を高められるようさらに研鑽に努める。</p> <p>・行事の精選や実施時期の変更等児童の実態に合わせた教育課程の編成を行う。</p>	<p>・こま研などの取組を充実させ、知識の集積を追い求める教育を打破できるように、保護者・地域への啓発に努めてほしい。</p> <p>・こま研については、学期の公開で見せたり学校だよりでの広報したり地道に続けていくとよい。</p> <p>・「こま研レポート」の掲示をもう少し広報す</p>

			るとよい。実践を年数重ねることで成果が見えるものであると認識している。
V 体育・健康教育について ・体力向上、健康の促進に向けた取組について	◎学校の取組について、学校だより等でお知らせを重ね、保護者からの理解を得ることができた。 ●「ここカラダ週間」の取組がマンネリ化して、実態に合っているかどうかの検証が必要である。	・運動会や Komaba ペースランニングの取組については、新年度改めて説明し、理解を得る。 ・朝、遅刻してくる児童が多い。「早寝・早起き・朝ごはん」をさらに周知し、整った生活習慣を身に付けるための工夫をする。	・不登校の実態が見えてこないが、児童の心の健康に十分な配慮をしてほしい。 ・保護者の責任において、朝の送り出しができるよう広報する。
VI 特別活動について ・学校行事の充実、異学年交流活動、クラブ・部活動の充実などについて	◎行事への取組は、保護者からの評価が大きく向上した。自由記述にも肯定意見が多い。開校 90 周年行事については、創意工夫できた良い行事だった。 ●約 90% の肯定的評価であるが、児童の満足度が昨年度より下がっている。何が原因か検証が必要である。	・クラブ活動は、年間 10 回を確保する。 ・青空班活動では、高学年児童がリーダーシップを取れるような指導を工夫していく。 ・特別活動の充実を図り、自分たちの力で学校をよくしていくという意識付けがさらに必要である。	・90 周年記念行事の取組を、年間を通して推進してきたことで、児童相互の望ましい人間関係が構築されているのではないかと。 ・開校 90 周年の記念歌唱が良かったとの声を聞く。開校 100 周年まで歌い継いでほしい。
VII 学校生活全般について <生活指導> ・生活規律の徹底、いじめや不登校の現状と対応、教員の関わり方、特別支援教育への取組などについて	◎保護者の評価は、大幅に肯定的評価が上がった。 ◎保護者以外全てにおいて、昨年度より評価が下がった。児童の中に、落ち着いて学習したり規則正しい生活を送ったりすることが良いという目標値が上がったため、自分に厳しく評価したのではないかと捉えている。	・「楽しい学校」「笑顔あふれる学校」を意識し、居心地の良い学校を目指していく。 ・教職員が足並みを揃え、生活指導基準の徹底を図っていく。 ・教職員はどの子も認め、いじめのない学級づくり学校づくりを目指す。	・保護者の評価が大幅に上がっているのは、校長をはじめとして教職員の努力の成果であると言える。 なお、児童の満足度の数値の経年変化を追っていくとよいのではないかと

<p><防災教育・安全指導></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故や災害に関する安全教育や情報モラル教育の充実、安全管理などについて 	<p>◎保護者教職員の評価は、昨年度より上がっている。</p> <p>●低学年児童は、緊急のチャイムや訓練が怖いという児童もいて、印象が良くなかったと考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練では、様々な場合を想定することにより、児童の行動は改善している。不審者対応や引き取り訓練等さらに改善して、実際の災害に備え防災意識を高めていく。 ・学習用情報端末の使用については課題も多く、児童の方が使い方に長けているので、ネットの良き使い手であること(デジタルシティズンシップ)の指導を続けていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災教育・安全指導の重要性に鑑み、保護者も含めた啓発に努めていくべきである。 ・SNS に関わるセーフティ教室など、保護者にも啓発する機会をつくるとよい。
<p><幼・保・小・中連携></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校や同じ中学校区の小学校との連携について ・近隣の幼稚園・保育園との連携について 	<p>◎概ね保護者からも地域からも肯定的な評価をいただけている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中連携において、各校の取組を広く知らせ、9年間を見通した連携を保護者に意識してもらうようにする。 ・幼保小連携の取組を継続できるよう、地域の幼保に働きかける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一中の様子が見えてこないのでコメントできません。双方の状況を共有する機会が必要である。 ・小学校は、小中連携の実践を HP で公開しているため、ぜひ見てほしい。
<p>Ⅷ 情報の発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校の情報発信の充実について 	<p>◎保護者の肯定的評価は、約 8 割である。学校 HP の学校日記や開校 90 周年行事などについては、定期的に更新し、児童の様子を発信している効果が出ていると考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりの内容の充実、学校 HP の更新、H&S の保護者へのお便りの配信を常とし、デジタル化へ移行していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校からのお便りと H&S などの配信は続けていくとよい。また、HP で学校の様子を発信しているため、見てもらえるように伝えていく。
<p>Ⅸ 教員の人材育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の職務をとおして専門性と協働性の育成、教育公務員の自覚について 	<p>◎肯定的評価が 100% となり、教員のやりがいを感じることでできている成果であると考えられる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・チームワークがよく、職員間の風通しが良いところが長所と捉え、次年度以降も継続していく。 ・サービス事故防止研修を通し、教育公務員として 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のみなさまに、教員の頑張っている様子など、さらなる見える化にご尽力をお願いいたします。

		の自覚を高めていく。	
X 教員の働き方改革について ・校務支援システムの活用、「チーム学校」を意識した業務分担等、組織的な業務の効率化・最適化について	◎10ポイント肯定的評価が上がっている。勤務時間外在校時間も減り、学校全体としても、働き方改革は進んでいると捉えている。	・「チーム駒場」として校務分掌を明確にし、一人一人が当事者意識をもって取り組めるようにする。	・管理職の先生をはじめとする管理監督層の努力の成果と思われる。
XI サービス事故の防止について ・サービス事故防止に向けた取組などについて	◎概ねよい結果である。どの教職員も真摯に研修に取り組む姿が見られている。	・年間 2 回のサービス事故防止研修は、必ず年間予定に組み込まれており、全教職員が参加して継続して行っていく。	・今後も継続していく。